

# 地域総合

## 食の神フェス、初の中止

### 神事でコロナ終息祈る

三浦

食の恵みに感謝する祭典が23

日、海南神社(三浦市三崎)で執り行われた。新型コロナウイルスの感染拡大で、1989年から毎年開催されてきた「食の神フェスティバル」は初の中止となり、今年には神事のみ実施。関係者ら約10人が参列した。

例年は、包丁と箸だけで魚をさばく神事「包丁式」や中国雑伎などが披露されて大勢の市民らでにぎわうが、今年には宮司や巫女もマスクを着用し、参列者の席の間隔を空けて約30分で神事を終えた。

新型コロナウイルスの鎮静祈願も込め、五穀豊穰や平安を願う舞も行われ、写真、イ

ベント実行委員長の渡辺達也さんは「今年はこの形になったが来年はもっとにぎやかになれば」とあいさつした。

参列した、日本調理師会三浦支部長で中華料理屋を営む石渡道雄さんは「三崎の飲食店はほとんど休んでいる」と惜しむ。

石渡さんの店は夜間営業が中心だったため、コロナ感染拡大に伴い3月中旬以降は売り上げが8〜9割も減少した。現在は休業して

いるものの、コロナ禍の長期化も見据えて時短営業で再開することも検討しているといい、「とにかく早くコロナが終息するようお願いしたい」と話した。

(岩崎 千晶)  
 動画はウェブサイト「カナロコ」に

